

医療用品 06 視力表及び色盲検査表
一般医療機器 特殊視力検査装置 (JMDN コード 70973000)

ファンクショナル ビジョン アナライザー (FVA)

【形状・構造及び原理等】

下記に外観図を示す。



<構成>

詳細は取扱説明書「I 各部の名称及び外観図」を参照。

- ・本体
- ・コントロールパネル
- ・スライド(本体内蔵)

<寸法・重量>

410(L)×285(W)×533(H) 約 6.8 kg

<原理>

本体内部に入っている 12 組のスライド(指標)を後方から照明し、視機能検査を行う。

<仕様>

- ・視力測定範囲：
0.9 logMAR (VA:0.13)～ -0.2 logMAR (VA:1.6)
- ・コントラスト感度測定範囲：1.5 サイクル/° ～18 サイクル/°
- ・立体視差：400" ～ 20"
- ・色覚検査表：石原色覚検査表スライド
- ・周辺視野検査範囲：鼻側 45° 耳側 55°、70°、80°

<電氣的定格等>

- ・定格電圧/電源入力：100-240V AC 50/60Hz / 0.5A
- ・電撃に対する保護の形式・程度：クラス I・B 型装着部

<使用環境>

相対湿度：30%～75%

【使用目的又は効果】

遠見・近見視力、コントラスト感度、両眼視機能、色覚、ポテンシャルアキュイティ視力、周辺視野などの視機能検査

【使用方法等】

取扱説明書を参照。

1. 使用準備
(1) 本体の電源を ON にします。
(2) ヘッドレストペーパーをヘッドレストペーパー差込口に挟みます。
(3) 額当てスイッチを押して、コントロールパネルのレディランプが点灯するか確認します。

- (4) まず、検者は装置に慣れるために、遠見検査モードで 12 枚のスライド全てを見ます。次に近見検査モードで 12 枚のスライドを見ます。

注意：遠見検査用スライドを近見モードで見ると、視標が逆さまになります。近見検査用スライドを遠見モードで見ても逆さまになります。

2. 本体の位置決め

- (1) 本体の高さ調節ボタンで、本体の高さを被検者に合わせます。
(2) 部屋の照明が、被検者の眼鏡や顔に直接当たらないように気を付けて下さい。

3. 検査

- (1) 被検者に、装置の額当て部に額を正しく当てるよう指示し、遠見、または近見検査用レンズの中を見るように指示します。
(2) スライドを選択し、被検者に視標の中の最小判読可能な視標を答えさせます。必要に応じて、観察用ドアを開け、ポインターで視標を指し示し、被検者が視標を認識するのを補助して下さい。
(3) 検者は、被検者の回答を記録紙に記録します。

4. 使用後

本体の電源スイッチを OFF にします。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

本品の使用者は、医師、医師の指示を受けた人及び視能訓練士だけに限定すること。本器の使用は、如何なる場合も医師及び視能訓練士の指示に基づいて行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

常温に保管すること。但し、75%以上の湿度は避ける。

【保守・点検に係る事項】

取扱説明書「V 保守」の項を参照。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ジャパン フォーカス株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-18

TEL (03) 3815-2611

外国製造業者

Stereo Optical Company, Incorporated

アメリカ

緊急連絡先

ジャパンフォーカス株式会社 TEL (03) 3815-2611

株式会社 JFC セールスプラン TEL (03) 5684-8531

取扱説明書を必ずご参照ください。